

田植え適期

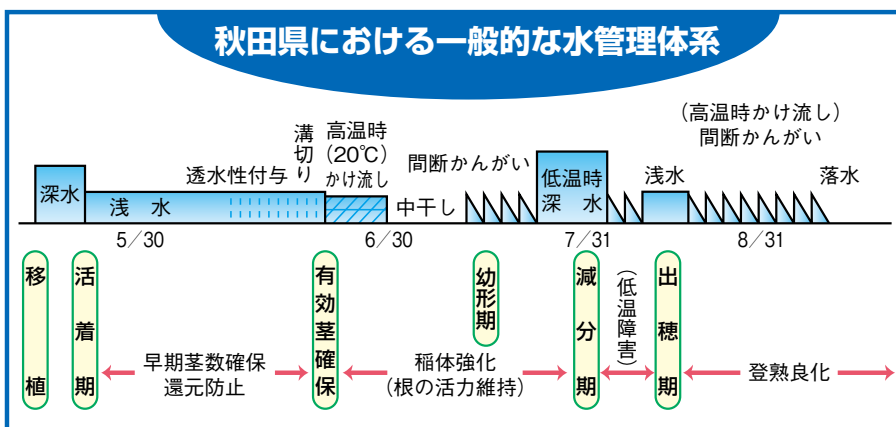
○良質米の安定生産のために、適期の作業が重要です。田植えは稚苗で13℃、中苗で14℃以上の日として、出来れば日中の最高気温が20℃以上の日に実施するようにしてください。最高気温が15℃以下の場合は、田植えを見合わせることをお勧めします。また、天候不順時（強風・低温）は、極力避けるようにしましょう。

○近年余り苗から、葉いもち病の発生が多く見られています。田植え後は、補植苗を速やかに処分しましょう。いつまでも放置すると、葉いもち病の伝染源となります。補植は早めに終えて、余り苗は必ず処分しましょう。

○高品質・良食味米の生産技術として、強勢分げつの確保が重要です。分げつを促進させるためには、水温の日較差が大切なポイントになります。「早朝かん水・日中止水」を基本に、気温が15℃以上の場合には浅水管理、15℃以下の場合には深水管理としましょう。また、風が無く日照がある場合は浅水管理として、地温の上昇に努めましょう。アオミドロや表土はく離などが発生した場合は、早朝や降雨日に水の入れ替えを行い、発生を抑えましょう。

水管理

秋田県における一般的な水管理体系



○活着後（通常5日程度で活着）は、やや浅水にして水温・地温を高め、保温的な水管理で分げつの促進に努めてください。

○分げつ盛期は比較的水の必要度が少なく、また地水温の上昇により土壌還元が進み、有害ガスの発生が多くなることから、根の健全化が重要となります。

農機具情報

SHINGU

背負式シリーズ

シングウベルカッター A-0526KB



小売価格(税込)
46,000円
＜チップソー付き＞

オススメポイント!

- ・排気デコンプ付、さらに軽-1スタートを標準装備（軽-1スタートは引き力半減を実現した新スターターです）
- ・総重量7.5kgの高出力・軽量を実現
- ・大容量の燃料タンクを注入し易い上部に配置
- ・始動の楽なブライミングポンプ付
- ・高齢者や女性に人気の背負いタイプ

上記に関するお問い合わせ・ご注文は、
 能代農機センター 58-3949
 ニツ井・藤里農機センター 73-5022

生産履歴記帳運動

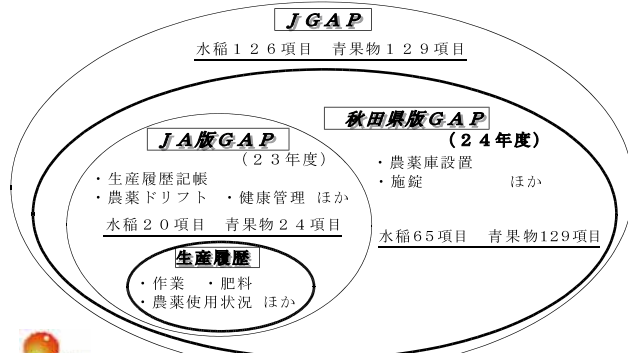
★なぜ生産履歴用紙記帳が必要か？

消費者の安全・安心を求める志向はとて高く、その信頼に応えるためには、**農業生産の保証書**となる生産履歴の記帳が欠かせないからです。

今年度は、秋田県版GAP（生産工程管理）に各部長、副部長より取り組んでまいります。

GAPとは・・・

より良い農業を行うために、点検項目を定め、これに沿って農作業を行い、記録・検証することで農業経営の改善に結びつけていこうというものです。



まずは、他の産地に負けないよう、取引先・消費者に選んでもらえるように信頼・信用を高め、**責任と自信**を持って提供するためにも、**出荷前に生産履歴を必ず提出しましょう!!**

※生産履歴の提出がない場合は分別出荷となります。

～安全安心な農産物づくり推進協議会～

産地として、消費者に認められ、指示されるように生産者のみなで頑張りましょう